

日本医師会シンポジウム 「医師会の創“医”工夫～医療人材確保に向けて～」

と き 令和7年4月4日(金) 14:00～16:00

ところ 日本医師会館3階小講堂 (WEB会議併用)

[報告:理事 中村 丘]

挨拶

松本日医会長 シンポジウム1回目の創“医”工夫、医療人材確保に向けての開催にあたり、主催者を代表して一言ご挨拶申し上げます。

本日はご多用の中、本シンポジウムにご参加いただきまして誠にありがとうございます。団塊の世代の方全てが高齢者となる2025年を見据え、わが国の超高齢社会を新たな局面と捉えています。今後2040年にかけて高齢者人口が増加していく一方で、深刻な課題は主力となる生産年齢人口が減少、地域を支える人材確保がさらに難しくなっていくことです。

その解決には多角的な視点からのアプローチが不可欠ですが、他職種連携の推進やAIやICTの活用、医療従事者の負担軽減、地域医療を支える医師やコメディカルの育成、働きやすい職場環境の整備など、さまざまな政策を少しずつできることから推進することが医療人材の確保と定着に繋がっていくものと思います。

その中で本日は医療機関と求職者のマッチングに焦点を当て、川崎市医師会、名古屋市医師会、神戸市医師会、福岡市医師会の皆様方に協力を賜りシンポジウムを進めてまいります。地域の医師会が中心となって行う取組みは医療機関の負担を軽減し、地域に密着した情報発信ができることが最大のメリットです。是非本日の講演を参考にさせていただき、各地域における医療人材の確保に向けた取組みがますます推進されることを期待しております。

また、医師会の創意工夫という形でもシンポジウムを、各地域医師会の取組み事例を好事例として横展開していくことを心掛けていきたいと思っております。是非、今日のシンポジウムを糧にし

て、都道府県医師会、郡市医師会の皆様にごこういったことを進めていただきたいと思います。

結びにあたり、本日のシンポジウムが実り多いものとなりますことを祈念申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い致します。

講演

① LINEを使った独自のマッチングサービス
医療求人情報の提供サービス
～医療人材確保と採用費増大に伴う、
医療機関の経営圧迫の課題解決を目指して～

川崎市医師会会長 岡野 敏明

問題意識として医療人材不足、特に看護師の不足が深刻化している中、人材紹介会社による高額な紹介料が医療機関の経営を圧迫している。そこで川崎市医師会の取組みは2023年10月より、医療機関と求職者を直接繋ぐ無料の求人情報提供サービスを開始している。掲載料・成功報酬は無料であり、育児・介護で離職した看護師の復職支援に力を入れている。

マッチングサービスの特徴として医療機関向けには、掲載料無料とし成功報酬もない。求人活動の負担軽減を主目的とする。求職者向けに、身近な医療機関のパート・非常勤情報提供及びLINEによる情報配信とセミナー開催を行っている。

プロモーション施策をオンラインでは、公式サイト、SNS (Instagram、LINE)、特設サイト (レスポンシブデザイン)、ウェブ広告のコンテンツを有している。オフラインではポスター・チラシ配布、セミナー・説明会開催、メディア掲載 (記者会見、テレビ神奈川など) がある。施策担当企業についてはクリエイティブ政策・プロモーション

政策・広報支援を担当する企業としてストーリー株式会社（川崎市生産性向上・働き方改革推進事業者、川崎市SDGsゴールドパートナー）と契約している。

2024年4月からの運用結果としてInstagramフォロワー:516人/年、LINE登録者:221人/年、医療人材募集ページアクセス数:21,499回/10か月（月間平均2,150回）であった。

現在の課題等については費用対効果の判断基準明確化、看護協会・他医療関連団体との連携強化、会員外からの費用徴収方法の検討を行い、全国展開を期待している。今後の取組みとして、市内医療機関・関連団体との連携強化、求人サイトの改修（デザイン・ユーザビリティ向上、求人情報の詳細化）、相談窓口の設置（LINE、電話、オンライン面談）、LINE応募システムの導入、求職者コミュニティ形成・キャリア支援コンテンツ配信等に取り組む予定である。

②名古屋市医師会求人サイト「名古屋 de 医療のおしごと」について

名古屋市医師会会長 山根 則夫

会員医療機関の人材確保対策として、看護学校閉校（令和5年3月31日）に伴う人材不足に対応するため、求人サイトを設立した（令和2年1月6日）。

サイトの概要は、24時間365日対応の医療従事者向け求人サイトであり、募集職種は医師、看護師、准看護師、看護助手、医療事務など35職種と幅広く、マッチングシステムにより、求職者と医療機関を繋ぐことを特徴としている。費用は開設初期費用200万円、月額基本料18万円、求人サイトID使用料1施設500円（100施設以上は5万円加算）。会員登録・サイト利用料は登録会員負担（年間1万円＋消費税）としている。担当企業はHRソリューション株式会社を選定した。

現状、登録医療機関は447件（会員1,700の約1/4）であるが、利用医療機関は277件となっている。令和7年3月現在までの求人案件数:792件、過去5年間の採用件数:618件、月間アクセス数:3,000～5,000件・応募数:100

人前後・採用数:5～10人程度である。

課題としてはIndeedからの求人票自動掲載停止（犯罪防止対策による審査厳格化）となり、仲介サイト導入により対応を行っている。現状会員利用が1,700人中500人弱のため知名度向上を目指すこととしている。新たな取組みとして、愛知県看護協会と業務契約し、スポットワーク事業開始（1日単位、数時間単位での勤務可能）を計画している。

③医療従事者専用求人サイトの運営

神戸市医師会会長 堀本 仁士

開設背景:少子高齢化、人口減少による医療従事者不足、特に移動就業者の確保が困難な状況を改善するため。民間広告や人材派遣の費用対効果の問題点を解決するため、名古屋市医師会の成功例を参考に開設した。

開設までの流れを時系列で示すと、

- ・2024年5月:名古屋市医師会を訪問し、運営方法などを学ぶ。担当企業は名古屋市と同じHRソリューションとした。
- ・2024年6月:理事会でサイト設立を承認。
- ・2024年9月:求人サイト利用申し込み開始。
- ・2025年2月3日:サイト運用開始とした。

サイトの特徴は利用対象を神戸市医師会員、理事会が承認した施設とし、利用料金を年間12,000円＋消費税。職種制限なし、求人数制限なし。

広報活動はチラシ配布、SNS活用（Instagramリール動画広告）、神戸市行政への協力依頼、メディア対応を行った。

現状は、運用開始2か月で15名採用（医療事務9名、看護師3名、臨床検査技師2名、理学療法士1名）。病院と開業医でほぼ半々の採用実績となっている。今後の課題として広報活動の継続、行政協力の継続、サイトの充実、満足度の高いサイト構築を目指す。成果としては神戸新聞夕刊1面トップ掲載後、応募者が増加した。現状約180施設登録、300施設登録を目指し安定的な運営を目標とする。今後、神戸市行政の協力によりサイトの信用度向上が望めるため、地域医療環境への貢献を目指す。

④福岡市医師会監修求人マッチングプラットフォーム「for-us」のサービス概要とその運営

福岡市医師会会長 菊池 仁志

サービス概要は2024年9月30日開始の医療機関と求職者間のダイレクトマッチングサイトであり、医療機関と求職者がサイト内でメッセージ交換を行い、面接日時確定まで可能。

双方向性の交流を重視し、求職者の不安解消やミスマッチ防止に繋がる。

求職者に対しての費用負担は、求人掲載料無料とし、仲介手数料は月額賃金の1か月分（採用日から60日以内に自己都合退職の場合は返金）である。スマホ特化設計で直感的な操作性を実現しており、アプリケーションの解析で地域ごとの医療人材の流れや職種不足の可視化・解析機能も備える。

実績（2024年9月30日～2025年3月31日）は登録医療機関：317施設、求人情報掲載数：327件、求職者累計登録数：244名、マッチング数：57名、採用実績：6件（看護師4名、医療事務2名）となっている。同期間のサイトへのアクセス数：9,744件、サイト閲覧数：141,074件であった。

解決する課題は民間求人サイトの高額な費用が以前から問題であり、求人応募がない、ミスマッチによる離職トラブル等が挙げられる。

本アプリケーションの特徴としては、医師会職員の協力を得て開発、若い世代の意見も反映している。ペーパーレス化、職業安定法の募集情報等提供事業に分類され、人材紹介業の免許・届け出不要（将来を見据えて届け出は済ませている）。求職者にとり、複数のサイトへの登録不要で効率的な仕事探しを実現している。医師会運営のため、医療機関特有の条件検索が可能で信頼度が高い。現在復職サポートも検討中であり、全国展開を目指し、パッケージ化を進めている。

プロモーションとしては、講演会、記者会見、YouTube、チラシ配布、Instagramなど多様な手段を用いている。本事業のネーミングは「今日と明日の間に何をを入れてもポジティブな意味を表す」ことを目指し、「For the best」の意味も込めた。

質疑応答

各医師会における医療人材確保のためのシステム導入状況と課題の共有、今後の展望について議論された。川崎市医師会、名古屋市医師会、神戸市医師会、福岡市医師会、その他複数の医師会（大阪、大分、栃木など）が質疑応答に参加した。

システム概要：各医師会が独自に開発・導入した医療人材紹介システム。求人情報の掲載、マッチング機能などを備える。費用や運営方法は医師会によって異なる。

導入費用とランニングコスト：医師会によって大きく異なる。初期費用は数百万円から千万円超、ランニングコストは月二十万円から百万円超。費用対効果の測定は困難。

システム利用状況と課題：

- ・求職者獲得：システムの効果は医師会によって異なり、求人情報の掲載だけでは十分な効果が得られないケースもある。
- ・トラブル：医師の引き抜きなどのトラブルは今のところ報告されていない。
- ・費用対効果：費用対効果の測定が難しく、多くの医師会が赤字経営となっている。
- ・地方医師会への対応：都市部中心のシステムとなり、地方医師会への対応が課題となる。
- ・ハローワークとの連携：ハローワークの活性化と人材紹介業者からの医療介護福祉分野排除の要望が出された。
- ・情報提供と紹介業務の線引き：情報提供にとどまるのか、職業紹介事業者になるのかという問題が提示され議論がなされた。
- ・賃金公開：賃金公開による賃金競争への懸念はあったものの、多くの医師会は公開している。
- ・広報戦略：求職者への周知方法として、SNS活用、退職者へのアプローチ、看護学校への広報などが提案された。

今後の展望：

- ・日本医師会は、全国規模のマッチング支援システム構築を目指し、各ブロックにコーディネーターを配置する計画。
- ・各医師会は、行政との連携強化、費用対効果の改善、広報戦略の強化などを検討していく。
- ・システムの有料化を検討する医師会もある。

その他:システム開発会社はストーリー株式会社、HRソリューション株式会社、コスミックビジネス株式会社など。Indeedなどの求人サイトとの連携強化が課題として挙げられた。

閉会

角田日医副会長 これまで、それぞれの地域で行っている先進的、好事例を共有する場がありませんでした。

今日は活発なご質問をいただき、有益な事例をご紹介いただいたと思っております。手軽にアクセスできるためには、SNS等を使った手軽な方法での公表が必要です。

ポイントはいくつかありますが、行政との連携は極めて重要だと思います。行政にお手伝いいただき、行政と連携することで安心感が増します。

医師会の負担をなるべく少なくするため24時間対応を自動でやるという形が重要であり、情報の共有は肝心です。

日本医師会は既に女性医師バンクを作っており、職業紹介事業として支援しています。今後全国展開するにあたっては、女性医師バンクのノウハウを使って全国レベルで、丁寧なコーディネートを使った求職者、求人者とのマッチングに介入し、お手伝いしたいと思っております。

これには各都道府県医師会の協力が必要です。各郡市医師会にも情報収集等をお願いしたいと思っておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

表紙写真の募集

山口県医師会報の表紙を飾る写真を随時募集しております。
アナログ写真、デジタル写真を問いません。
ぜひ下記までご連絡ください。
ただし、山口県医師会会員撮影のものに限ります。



〒753-0814 山口市吉敷下東3-1-1 山口県医師会総務課内 会報編集係
E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp